

JAPAN HEALTHCARE VENTURE SUMMIT

AMEDシーズアクセラレーションピッチ

AMEDとMEDISOが推薦するシーズをピッチ形式で紹介します。
各事業担当者が、シーズに対する応援演説をします。
モデレータやAMED認定VCが実用化・事業推進に向けたアドバイス・
コメントをします。

開催日時

令和6年10月9日(水) 13:30~

開催場所

パシフィコ横浜 JHVSメインステージ

時間	内容	登壇・発表
13:30頃	開会の挨拶	AMED 三島理事長 内閣府 健康・医療戦略推進事務局 仙波次長 経済産業省 生物化学産業課 下田課長 JPモルガン証券 日本ヘルスケア責任者 善積様
13:50頃	シーズピッチ第1部 +質疑・フィードバック	ピッチ登壇者:紹介参照 モデレータ: LINK-J 高橋様 Remiges Ventures 稲葉様 コメンテーター: AMED 三島理事長／内田参事役 経済産業省 下田課長
14:35頃	シーズピッチ第2部 +質疑・フィードバック	AMED認定ベンチャーキャピタル
15:10頃	シーズピッチ第3部 +質疑・フィードバック	AMED 岡村理事長特任補佐／執行役
15:50頃	講評	AMED認定VC、ピッチ登壇者参加
16:00頃 (17:00終了)	ネットワーキング	

ピッチ登壇者紹介

第1部



公益財団法人がん研究会 清宮 啓之

大腸がんの未攻略点を標的とした革新的新薬～タンキラーゼ阻害剤RK-582

世界で年間死亡数90万人以上の大腸がん。その主因たるWnt経路の攻略は困難とされてきた。RK-582はWnt経路を阻害、大腸がんの増殖を抑制する。薬効予測候補因子も発見、間もなく第I相治験を開始する。

鳥取大学 中村 貴史

革新的がん治療のための次世代腫瘍溶解性ウイルス

がんウイルス療法は、腫瘍溶解性ウイルスによる直接的ながん細胞の破壊と、それに伴う抗腫瘍免疫の賦活化によって抗がん効果を発揮する。限られたがん種かつ患者のみ有効である現状の課題を解決すべく、難治性がんの病態に応じて腫瘍溶解性ウイルスをカスタマイズできるiOVシステムを確立した。

自治医科大学 大嶺 謙

エリスロポエチン(EPO)誘導性選択的制御遺伝子(SRG)搭載 CAR-T 療法の開発

SRGはEPOの投与により患者体内のCAR-T細胞の增幅能と存続能を増強し、治療奏効性を高める遺伝子治療技術です。この全く新しい治療アプローチは、CAR-T療法のみならず、T細胞を用いる様々な治療戦略にも応用が可能です。

第2部



山形大学 / 株式会社ゲノム創薬研究所 浜本 洋

新規作用機序を有する難治性MRSA感染症治療薬 ライソシン Eの開発

ライソシンEは新規構造及び新規作用機序を有する抗生物質であり、比類のない短時間で強力な殺菌作用を示します。既存の抗菌薬に無効なMRSA感染症に対する治療薬としてGLP適用安全性試験を含む非臨床開発段階にあります。

ONSSI株式会社 鈴木 悠地

癌と間質を標的とした抗体薬物複合体による肺臓癌の革新的治療法の開発

Glypican-1(GPC1)を標的とした抗体薬物複合体(GPC1-ADC)は、癌細胞に直接作用するだけでなく、間質(特に癌関連線維芽細胞)を介した作用を持つ革新的な抗癌剤です。間質が豊富で既存の抗癌剤が効きにくい肺臓癌に、新たな治療選択肢の実用化を目指します。

株式会社サイディン 弘津 辰徳

治療法のない再発・難治性白血病患者を環状オリゴ糖で救う

白血病罹患者の約25%は薬剤耐性や不耐容により治療法がなくなってしまい、終末期に治療を受けられず苦しみながら亡くなっていく。これに対し、環状オリゴ糖を活用し、新規作用機序を有し副作用の少ない画期的な治療薬の開発を目指している。

藤田医科大学 / 株式会社FerroptoCure 大槻 雄士

フェロトーシス誘導性抗がん剤

私達はフェロトーシス(酸化ストレスによる細胞死)を利用した抗がん剤を開発します。フェロトーシス抑制は、がんの発生増殖、治療抵抗性メカニズムとして注目されており、この抗がん剤は、幅広いがん種に適応が可能となります。

第3部



CELLGENETECH

セルジエンテック株式会社 麻生 雅是

難病を治療する再生医療の新たなモダリティ遺伝子導入ヒト脂肪細胞

難病治療用の遺伝子導入脂肪細胞医薬品の研究開発を行っています。LCAT欠損症を対象に臨床研究にて7年に亘る安全性・有効性が示唆され、そのプラットフォーム技術を展開し血友病Aへ実用化開発を行っています。

リジェネフロ株式会社 森中 紹文

ヒトiPS 細胞由来腎前駆細胞を用いた慢性腎臓病(CKD)に対する細胞療法の開発

ネフロン前駆細胞は、腎機能の最小単位であるネフロンの起源となる細胞で、腎機能を改善する能力を持ちます。当社では、ヒトiPS細胞より作製したネフロン前駆細胞(iNPC)を腎被膜下に移植し、低下した腎機能の改善を試みます。

HiLung株式会社 山本 祐樹

iPS細胞技術を活用した呼吸器疾患創薬

HiLung株式会社におけるiPS細胞技術の創薬応用について、米国FDAより希少疾病医薬品指定を受けた特発性肺線維症に対する治療薬候補HL001と、さらなる新規モダリティ研究開発の現状を御紹介する。

株式会社ポル・メド・テック 三輪 玄二郎

異種臓器移植 遺伝子改変ブタの腎臓を腎不全患者へ

臓器ドナー不足の解消を目指し、米国eGenesis社が開発し腎不全患者への腎移植実績のある遺伝子改変ブタを日本でクローン再現生産に成功し、臨床研究・臨床試験を準備中。将来は心臓・肝臓移植にも展開を計画。

